



「ほかほかして、きもちがいいね」
「そろそろ、おきようか」
はるに なりました。
たまごの なかで きょうだいたちが、
こえを かけあい、もぞもぞ、ごそごそ。
せまい でぐちの むこうには、ひろい せかいが ひろがります。

めだま ごしごし、かま・ひげ ぺろぺろ。
かりの どうぐは ぴかぴかです。



まぶしい なつは、かりの きせつ。
からだも すこし おおきくなって、
かりの しかたも、だんだん うまくなりました。
それに なにより、きれいずき。



◎ 前あしは狩りの重要な道具だが、人間が使う刈り鎌とちがって、
えものをはさむのに使う。からだの手入れにも利用する。

そして あるひ、さいごの きがえ。
りっぱな おとなに、だいへんしーん！



はちに ばった、ちょう、とんぼ。
からだがおおきくなるにつれ、えものの しゅるいも ふえました。
だけど やっぱり きを つけないと、かえるやへびに おそわれます。

🔍 オオカマキリの場合、成虫になるまでに
6~8回の脱皮をする。体色は茶と緑の2種類がある。